

第1回丹南地区高校教育懇談会における主な意見

日時 平成29年7月25日(火) 18時30分～20時30分

場所 サンドーム福井103、104研修室

- ・再編の必要性はある。2校減らす方向でと考えていた。
- ・学校の経営上、規模の維持を図っていくべき。再編はやむを得ない。打つ手が遅れないように取り組むべき。
- ・再編のポイントはまずは適正規模、次にそれぞれの学校の特色。職業系の商業と工業を一つにして、適正規模にして、いい先生を集めていただきたい。
- ・交通の便がよいところ、歴史のある学校は残してほしい。丹南地区は、ものづくり、伝統工芸の町であるから、工業系、IT系、デザイン系、そういった学校を残してほしい。また介護関係の学科も大事。
- ・再編はやむを得ないが、ものづくりなどの丹南地区の強みが流出するのが惜しい。福祉など新しいところへのニーズも加味してほしい。既存のものの再編だけでなく、これからのことも考えて、地域のニーズ、子供達のニーズを考えてほしい。
- ・再編は仕方がない。地域の期待にあった学科を作ってほしいが、ただたくさん作っても、中途半端になってしまうので、そうならないよう見極めるべき。通いやすい、駅が近いなど交通の便のいいところで再編してほしい。
- ・丹南から福井に流れるのは丹南に受け皿がないから。再編するにあたっては、こういった生徒達のこと考えるべき。
- ・たくさん高校がなくても、魅力を持った高校さえあれば子供達は進学する。子供達のこれからの動きを考えて再編してほしい。
- ・再編を進めていく上で、現在丹南高校が持っている選択肢の幅は残してほしい。
- ・再編の必要性とか再編のポイント、方向性について十分理解ができた。丹南地区では2校減らす必要がある。再編は大所高所から判断しなければならない。丹南高校をなくし、武生商業と武生工業を一つにして2校を減らすのがよい。
- ・外国人、ブラジルの方、これからはベトナムの方が入ってくる。その生徒達はいくらか進学はしているが、これからの世の中を考えると、十分ではない。そのあたりの方向を見て受け皿を作っていただきたい。地域の期待に応えるという、地域の特殊性という意味での考え方もあったらありがたい。
- ・普通科から就職する生徒の受け皿も考慮してほしい。ものづくりが多い中、手に職をつける学科も考慮してほしい。今までの流れありきではなく、いろいろなことを総合的に考えてほしい。子供達が丹南に残るような再編をしてほしい。
- ・再編によって、県立に行きたいが私立に行かざるを得ない状況にならないようにしてほしい。福井への流出が減るような再編をしてほしい。
- ・高校では社会で通用するような技術、資格取得を充実して、これからの少子高齢化、街づくりに役立つようにしてほしい。丹南高校は介護、福祉、IT、デザインなどが学べる。地域のいろいろな方から授業が受けられるのがいい。
- ・年々生徒が減っているので、早急に再編をしていただき、魅力のある学校ができれば、子供達は丹南地区の高校に進学する。
- ・今の段階でどの高校を減らすというのは早すぎる話ではないかと。ただし、人数を見ると将来的には減らさざるを得ない。福井の方に進学するのをどう防ぐか、魅力ある学科をどう考えるか、そういうことを考えるべき。普通科のある学校に違う学科を入れるのもいい。通学の便利なところも魅力がある。学校の耐震という問題もある。いろいろな方向から考えるべき。
- ・学校は地域にとって大事。再編によって地域の子供、保護者が困らないようにしてほしい。